

令和3年4月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

市長が、広域道の駅整備事業、教育旅行の受け入れ、アンバーホールで開催する闘牛大会をモチーフとした水墨画展について報道機関にお知らせしました。

□ 記者との質疑応答

記者： 令和3年4月22日(木)から25日(日)アンバーホールで個展を開催する闘牛水墨画の作者、三角敏子さんはどのような方か。

市： 県内を活動拠点としている、滝沢市在中の水墨画家である。

記者： 桜の名所は、どこになるか。

市： 巽山公園がある。今すぐではないが、3月11日に北日本造船近くに桜を植樹しており、3年後の開花を想定している。

また、小久慈町の住民の方々が、平成30、31年度に桜861本を数えてマップを製作し、ウォーキングも実施している。これは、知られていない桜並木が同地区にあり、琥珀や小久慈焼きと合わせて交流人口を増やそうとしたことがきっかけである。

記者： 八戸久慈自動車道が開通したが、八戸市の交流はどのように考えているか。

市： 久慈は病院など、生活圏に八戸が含まれている。八戸は、新幹線もすべて停車するので、観光ビジネスも利用しやすいよう、高速バスも用意していかなければならないのではと思っている。また、久慈が通過点にならないよう、一旦降りていただく場所を作りたいと思い、管内の3市町村に声をかけ、北インター付近に広域道の駅を計画した。あと2年はかかるが、ガソリンスタンドを併設した道の駅となっており、八戸からも来久いただきたいと考えている。

記者： オリンピックの聖火ランナーは、対策万全にして迎えるということでしょうか。

市： これからどうなっていくか注視していくが、現在は予定どおり行う予定である。

記者： 国からのガイドラインはあるのか。

市： 現在、特にガイドラインはないが、これからの感染拡大によっては検討していかなければならないと考えている。

記者： 教育旅行の受け入れはどうなっているか。

市： 民泊はしない方向で考えていたが、学校側が春先は厳しいのではないかと、延期を検討しているようである。